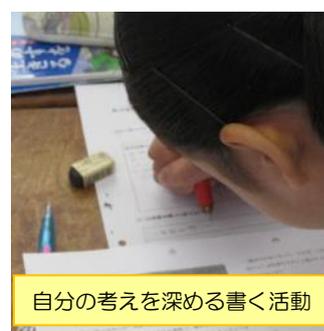
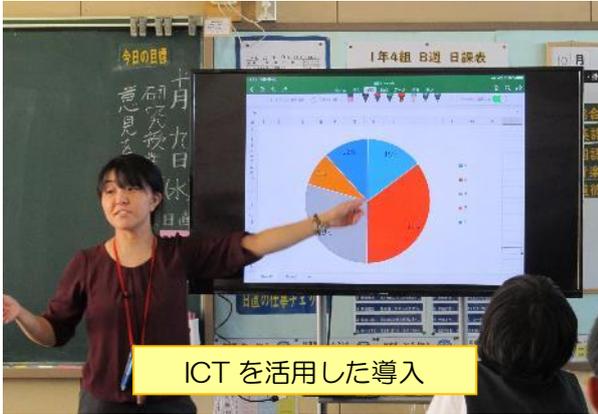


令和元年度東部地区道徳教育研究協議会

久喜市立久喜中学校

【A部会（1学年）】

主 題 名 自分らしい生き方
内容項目 A 向上心、個性の伸長
教 材 名 「きらめけ ほくだけの音色
ーピアニスト 辻井伸行ー」
(彩の国の道徳「自分を見つめて」)



1 各グループからの発表（ワークショップ型分科会）

【①アンケート、映像資料を用いた導入について】

- 生徒自身に身近なアンケートの結果に興味が高まっていた。
- 導入は映像などもありよかったが、もう少し短いとよい。

【②話し合い活動について】

- 書く活動の後に話し合ったことで、話し合いが深まっていた。
- グループ6人は多い。話し合いには4人が適当ではないか。

【③設定した設問の適切さについて】

- 教師の切り返しが上手で、生徒が自分事として考えることが出来ていた。
- 最後に導入のアンケートや課題に立ち返れるとさらによかった。



2 指導講評

- ローテーション授業で行っている学校だが、授業者は担任ではない学級でも自分のクラスのようにできていた。教材の分析や掲示物など、学校全体の協力体制がよい。ただ、道徳は原則担任が行うことも考えて計画していくことが大切である。
- 課題の提示については、教師からの提示ではなく、生徒から何を考えていけばよいか、という主体性もてる課題にできるとよい。

- 学習指導案の書き方については、埼玉県の編成要領や指導評価資料も参考にしてもらいたい。

